

こもれび

題字 北村正平市長



東海四県スポーツ推進委員研究大会(1/31～2/1)にて

第35号



- ・第18回藤枝リバティ駅伝(1/19)
- ・第72回東海四県スポーツ推進委員研究大会 IN三重(1/31-2/1)
- ・志太フレンドリーマッチ
第7回ワンバウンドふらば～る大会(2/9)
- ・志太3市スポーツ推進委員会交流会(2/22)
- ・第32回ふじえだマラソン(3/2)
- ・長野県諏訪市スポーツ推進委員会との交流(3/8)

編集・発行
藤枝市スポーツ推進委員会
広報部

2025年4月

第18回藤枝リバティ駅伝

令和7年1月19日(日) 大井川マラソンコース「リバティ」

今年は新たな試みとして親子でいっしょに走行するファミリーペアマラソン部門を作り、より多くの参加者を募る大会となり141チーム総勢705人、22ペア44人が走り抜けました。

初めて参加した藤枝リバティ駅伝大会は、途中から雨が降り始めましたが、それでも多くの人々が集まり、笑顔と熱気に包まれていました。

私は受付を担当しましたが、受付では、飛び賞に当たった参加者の方々に賞品をお渡しすると、皆さんとても喜んでくださいました。

参加者は家族や職場の仲間、友人、学校など、それぞれのグループで参加しており、和気あいあいとした雰囲気が広がっていました。

レースでは、中継所やゴール前付近でチームの仲間が応援し、それに笑顔で応える選手や手を振りながら走る選手、ラストスパートする選手が見られ、私もつい応援したくなりました。

走り終えた後には、選手やお子さんたちが豚汁コーナーで豚汁を美味しそうに食べている姿が印象的でした。あたたかい食べ物が疲れた体を癒しているように見えました。

今回の大会を通じて、選手、応援する人、スタッフの皆さんが一体となったとても良い大会だと感じました。多くの人々が協力し合い、素晴らしい思い出を共有できたことに感謝しています。

福永秀樹

★参加チーム数一覧★

小学生	18チーム
中学生男子	5チーム
中学生女子	3チーム
一般・高校生男子	35チーム
一般・高校生女子	3チーム
一般男女混合	77チーム

ファミリーペアマラソン
22ペア



ファミリーペアマラソン



小学生の部



一般男女混合の部



応援



第72回東海四県スポーツ推進委員研究大会

三重県四日市市

令和7年1月31日(金)～2月1日(日)

今年の東海四県は、三重県四日市市が会場となり、藤枝市からは13人が参加し、2日にわたる研究を行ってきました。

昨年の東海四県静岡大会並びに藤枝市の発表から早いもので1年が経ち、今年は三重県での開催となった東海四県スポーツ推進研究大会。しかも数年前のコロナ禍の影響もあり、一泊での参加は久々でありました。

今回、藤枝市からの表彰者はいませんでした。前年の功労者表彰団体として藤枝市を代表して村松委員長が紹介を受け、大きな拍手喝采を浴びました。また、我らの竹田副委員長も静岡県の会長として、普段なかなか見れない装いでスクリーンに映し出されました。

三重大学の書道サークルのアトラクションや谷本教授による講演も今一の感は否めませんでした。とにかく事務局を含めた藤枝市の参加者13人が懇親会を楽しみに、四日市市の夜を練り歩き回りました。

二日目は四日市市の発表でしたが、いやあ昨年を思い出しましたよ。四日市市もいろいろ立派な活動をされ、感心させられる事が多くありましたが、改めて藤枝市もまんざらではないと思ったのは発表した私だけでしょうか？(多分そうでしょうけど・・・)

島田市、焼津市と比較しても、宿泊先やら昼食やら、大会終了後の近場の寄り道などなど事務局は大変な苦労もあったと思いますが、楽しい東海四県大会になりました。

改めて感謝申し上げます。これからも引き続き藤枝市の良さを保ちながら、スポーツ活動に邁進していきましょう

田中 弘幸



開会式



竹田副会長ほか役員の方々

第72回東海四県スポーツ推進委員研究大会が令和7年1月31日(金)・2月1日(土)の両日、三重県四日市市で行われました。藤枝市からは推進委員12名、事務局1名、計13名が参加しました。

1日目は朝8:30頃市役所を出発、藤枝岡部ICから高速道路に入り、浜松SAでトイレ休憩、湾岸長嶋PAに11時頃到着。各自自由に昼食ということで、ちょうど11時に開店したレストランに入りました。大体の人はとんてき定食か味噌カツ定食でした。その他の人もいました。

研究大会会場の四日市市総合体育館には12:30頃着きました。会場には物品販売のコーナーがあり、その一角に記念撮影ができる場所があったので、そこで集合写真を撮りました。開会まで時間があつたので物品販売を見て回ったりしていました。物品販売では四日市市の地場産品や推進委員用のグッズなどを販売していました。

13:30開会式が始まりました。諸々のあいさつの後、表彰が行われました。藤枝市は昨年、研究発表したことから団体表彰を受けました。

開会式の後、休憩を挟んで三重大学書道サークルの皆さんによる書道パフォーマンスがありました。今回の研究大会のテーマである「人生110年時代を支えるスポーツ推進委員のあり方～現状維持は退化のはじまり～」を和太鼓のリズムに合わせて、3人ずつ交代で書き上げるというものでした。途中失敗かなと思うところもあったけど、書きあがってみるとまあまあの出来だったと思います。

休憩の後、順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科教授・谷本道哉氏の講師で「人生110年時代を目指す手軽にできる体づくり」と題する講演が行われました。本当に着の身着のままでできる筋トレの方法をいくつか教えてもらいました。我々もその場で体験しながらの講演だったので眠くなることもなくとても楽しい講演でした。これで1日目の研究大会は終了し島田市・焼津市と懇親会。

2日目の研究大会は分科会。藤枝市は第1分科会に参加しました。ホテルから徒歩で10分程の四日市市文化会館で行われました。四日市市スポーツ推進委員協議会の発表はとても参考になる話でした。

次回は岐阜県下呂市で行われるそうです。次回も楽しみにしています。

高橋 康夫



三重大学書道サークル



藤枝市スポーツ推進委員の参加者たち

志太フレンドリーマッチ 第7回ワンバウンドふらば〜る大会

令和7年2月9日(日) 焼津市シーガルドーム

志太3市の地区大会を勝ち抜いた8チームが焼津市のシーガルドームに集い、勝敗を競い合いました。



★参加チーム・大会結果★

★Aブロック	WBC Aチーム	3位
★Bブロック	昔は美人	4位
★Cブロック	チーム青南	2位
	SPA-KAI	4位
★Dブロック	フレッシューズブラック	3位
	SPA-梵	4位
★Eブロック	HEROES	2位
★Fブロック	WBC Bチーム	3位

志太3市スポーツ推進委員 交流大会

令和7年2月22日(土) 焼津市シーガルドーム

志太3市のスポーツ推進委員による12チームの構成によりワンバウンドふらば〜るで交流し、ルールの確認や審判体験など有意義な時間を過ごしました。

2025年2月22日、志太三市スポーツ推進委員会交流大会が、焼津市のシーガルドームで行われました。

各市対抗戦となり、白熱した戦いが繰り広げられました。とはいいまでも三市の皆さん和気あいあい楽しんでプレーしていました。

当日は、ふらば〜るの審判も各市が担当しました。

私も、タッチネットのホイッスルが遅く、まだまだ審判の勉強が必要だと思いました。

今後の活動の為に、審判の技術の向上に努めていきたいと思います。

長瀬 千賀子

★藤枝市チーム★

★藤枝市A

村松、飯塚、土屋、長瀬、牧田、岡村

★藤枝市B

竹田、山田、高橋、後藤、横山、松永

★藤枝市C

田中、塚本、岡村、鈴木、大石、細谷

★藤枝市D

藪崎、岩本、大須賀、竹山、杉山



2月22日(土)に志太3市スポーツ推進委員会交流大会(ワンバウンドふらば〜る)に参加しました。1ブロック4チームによるリーグ戦、1試合2セットマッチ、15点先取のルールでの開催でした。体育館の底冷えにも負けず、藤枝市・焼津市・島田市の競技者による熱戦が繰り広げられました。

体育館の静寂の中で始まった競技は回を追う毎に熱を帯び、競技者の元気な声が響き渡っていました。真剣に競技をしながらも、楽しんでいる皆さんの姿がとても印象的で、私自身も積極的に参加させて頂く事ができ、とても充実した時間を過ごすことができました。

ワンバウンドふらば〜るは性別・年齢を問わず楽しめるスポーツだと改めて実感すると同時に、健康維持・増進にも大いに貢献するものだと分かり、スポーツ推進委員の役割の重要性を再認識する事ができました。

今後も、ニュースポーツを広める活動に積極的に参加していきたいと思います。

杉山 朋隆



第32回ふじえだマラソン

令和7年3月2日(日)

藤枝市瀬戸谷地区

藤の瀬会館をメイン会場とし、藤枝市から200km以上離れた所にお住いの方(遠来賞)11名、参加年齢80歳以上の方(健康賞)5名を含め、参加者約1,500名が集い、瀬戸谷路を走り貫きました。

令和7年3月2日第32回ふじえだマラソン大会が開催されました。前日から準備に従事されたスタッフの皆さんお疲れさまでした。

今年は気温も高く、大会当日は20度越えの汗ばむ陽気でした。準備から大会終了まで多少の課題はあると思いますが、大きなトラブルもなくスタッフの皆さんも今までの経験をもとにスムーズに作業が行われていたと感じました。

私は、ハーフマラソン折り返しの蔵田の給水係でした。私自身ハーフマラソンの経験はないのですがリバティ駅伝のような平坦な道を走ってくるのではなく、あの蔵田の坂道を駆け上がってくことを考えると想像以上の体力の消耗だと思いましたが、各スタッフや地元住民の皆さんの温かい声援もありランナーの皆さんは楽しそうに走っていました。32回もこのふじえだマラソン大会が続けられるということは、こういった地元住民の方々のご理解や、地元を盛り上げていこうという思いもあるからこそ続いているのではないかと私は思います。

来年度も、いろいろな催しがこのふじえだマラソンのように大成功で終われるよう事務局の皆さん推進委員の皆さん頑張ってください。

お疲れさまでした。

飯塚博之

★参加者数★

ハーフマラソン	399人
10km	550人
5km	278人
3mジョギング	332人



3/1、2に第32回ふじえだマラソンにスポーツ推進委員として初めて参加しました。

私の担当は、3/1の準備ではコース清掃、3/2の本番は参加賞配布係を担当させていただきました。

準備のコース清掃では、びく石から蔵田へ向かう山道コースの落ち葉やゴミ、危険な物等をブローカーを使い清掃する内容でした。先輩委員から「走る選手が安心して安全に走れるようにする」と教えていただきました。私も何回か大会に参加したこともあります、大会運営にあたり始めて知ることになりました。

選手の方が心置きなく全力を出すことができるように清掃活動ができたと思います。

大会当日は、ゴールを過ぎたところに配置されている参加賞配布係を担当しました。準備もそうなのですが、何をしていたかわからず、不安もありました。しかし、先輩委員さんからのアドバイスがあり、不安もなくなりました。自分の役割もわかり、笑顔でゴールした選手を迎えることができ、楽しくできたと思います。

個人的な課題として、ゴールした選手の中で、体調を崩した方に何もできなかった事です。応急処置の知識を少しでも学んでおこうと思いました。これはスポーツだけではなく、地域活動や防災などほかのイベントや活動でも大事だと思いました。

2日間の参加でしたが、楽しく参加することができました、ありがとうございました。

仲田好毅



長野県諏訪市スポーツ推進委員との交流会

令和7年3月8日(土) スポーツパル高根の郷

今から7年前に藤枝市のスポーツ推進委員が諏訪市に視察研修した経緯により、今般諏訪市スポーツ推進委員と事務局の方10名が藤枝市を訪問され、ビームライフル、及びウォーキングサッカーを体験しながら交流を深め、夜の懇親会でも楽しい時間を過ごしました。



編集後記

令和6年度三大イベント・スポーツ&健康フェスタ・リバティ駅伝・ふじえだマラソンも無事に終わり、「こもれび」も3部発行する事ができました。原稿に協力してくださりありがとうございました。

朝比奈友見